公益財団法人　毎日新聞大阪社会事業団　助成事業

講演会

困っている子どもの背景と支援

～コグトレを使った具体的支援～

児童福祉施設では、施設職員等の支援者がどんなに頑張っても、子ども達への支援がうまくいかず、不適応症状を呈する子ども達への対応に、日々疲れ果てている現実があります。そういった場合、子ども達の見る力、聞く力、想像する力などに原因があるかもしれません。

今年度は、児童精神科医として勤務した医療少年院で、発達障害や知的障害をもち、生きづらさを抱えている多くの少年達との出会いから、そういった障害があっても「コグトレ」により適切な対応を続けることで、少年達のもっている困難が改善され支援がうまくいく！ＩＱも上がる！と多くの成果を出してきた「コグトレ」の考案者の宮口幸治先生を講師にお招きします。「コグトレ」とは「コグニティブ・トレーニング（認知トレーニング）」の略で、社会面や学習面、身体面の３方面から子ども達を支援する包括的プログラムです。認知機能が弱い子・感情統制の苦手な子・融通の利かない子・不適切な自己評価をもっている子・対人スキルの乏しい子等々に対し、具体的にどうすればいいのかをご講演頂き、その後、身体を使ったワークショップ（身体的不器用さをもった子ども達への認知作業トレーニング）をご体験頂きます。

皆様のご参加を是非ともお待ちいたしております。

＊とき　平成３０年９月２２日（土）　１３：００～１６：３０（受付　１２：３０～）

＊ところ　ホテル アウィーナ大阪　４階　金剛　　大阪市天王寺区石ケ辻町１９番１２号

第Ⅰ部　講演＆ワークショップ　１３時～１５時１５分

講　師　：立命館大学産業社会学部・大学院人間科学研究科教授　　宮口　幸治 氏

第Ⅱ部　質疑応答　１５時３０分～１６時３０分

講　師　：立命館大学産業社会学部・大学院人間科学研究科教授　　宮口　幸治 氏

ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ　：　いぶき法律事務所　　弁護士　　岩佐　嘉彦 氏

講師プロフィール

宮口　幸治氏

立命館大学産業社会学部・大学院人間科学研究科教授。京都大学工学部卒業、建設コンサルタント会社勤務の後、神戸大学医学部医学科卒業。神戸大学医学部附属病院精神神経科、大阪府立精神医療センターなどを経て、2009 年より法務省矯正局宮川医療少年院法務技官・児童精神科医として発達障害や知的障害をもった非行少年への教育プログラムの開発やグループ運営を行ってきた。その他、幼稚園・小・中学校などの学校コンサルテーションにも従事。2015 年、女子少年院である交野女子学院医務課長、2016 年より現職。現在、少年院矯正教育から学校教育等へ応用した効果的な支援法について教育・心理・福祉・医療の観点で行う「コグトレ研究会」を主宰し、全国で研修を行っている。医学博士、子どものこころ専門医、日本精神神経学会専門医、臨床心理士。

主な著書に『教室の「困っている子ども」を支える 7 つの手がかり―この子はどこでつまずいているのか?』（共著、明石書店、2014 年）、『不器用な子どもたちへの認知作業トレーニング』（編著、三輪書店、2014 年）、『コグトレ みる・きく・想像するための認知機能強化トレーニング』（単著、三輪書店、2015 年）、『性の問題行動をもつ子どものためのワークブック――発達障害・知的障害のある児童・青年の理解と支援』（共著、明石書店、2015 年）、『子どものやる気をなくす 30 の過ち』（共著、小学館集英社プロダクション、2017 年）などがある。

※当日、会場受付にて書籍を販売致します。（冊数に限りがございます）

＊参加費　2,000 円（資料代込）

＊持ち物　新聞紙 20 枚（朝刊約 3 日分）
　　ご持参の新聞紙でコグトレ棒を作成します。

＊当日は運動出来る服装でご参加下さい
（スカート及ハイヒールはご遠慮頂いた方が無難です）

＊申込み　裏面の申込書に必要事項をご記入の上、
　　事務局宛に**ファックス**でお申し込み下さい。

＊定　員　100 名（先着順）

＊締切日　平成 30 年 9 月 6 日（木）
　定員をオーバーしたときのみご連絡を差し上げます。
ご連絡のない場合は、当日直接ご来場下さい。

事務局
社会福祉法人大阪児童福祉事業協会　アフターケア事業部
TEL　06－6765－3400　　**担当　伊藤･芳田**
FAX　06－6765－3402

ホテル　アウィーナ大阪　アクセス

●地下鉄谷町線「谷町九丁目」駅より地下通路を上本町方向、⑧番出口に向かって進み、上本町駅⑭番出口より南東へ進む（徒歩約８分）

主催　社会福祉法人 大阪児童福祉事業協会　アフターケア事業部